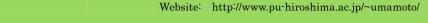


# **TEFL in Japan: Tradition and Innovation**

生命環境学部 生命科学科 (全学共通教育・英語) 教授 馬本 勉(うまもと つとむ)

県立広島大学 庄原キャンパス 連絡先 2401 号室

Tel & Fax: 0824-74-1725 (研究室直通) E-mail: umamoto@pu-hiroshima.ac.jp





キーワード: TEFL (Teaching English as a Foreign Language

外国語としての英語教育),教材論,語彙指導, e ラーニング, CALL, Moodle, 独習書, 訳読史

## ● 現在の研究について

伝統的な英語学習法と、現代の ICT 技術を 駆使した学習法との両面から、より効果的な 英語の学び方・教え方を研究しています。

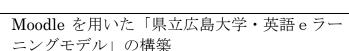
独習書の分析を通じた英語学習法の変遷に 関する研究

[H24~H26 年度 科学研究費 基盤研究(C)]

英語圏の国から輸入され、明治初中期の日本で 英語教科書として用いられた書物(主に英語読 本)に対し、「直訳」や「独案内」と呼ばれる独 習書が数多く出版されました。「直訳」は英文の 和訳を記したいわゆる訳本です。「独案内」とは、 英文中の各単語に発音カナ表記・訳語・訳順を示 す番号を併記した参考書であり、単語に付された 訳語を番号順に並べ変えると,和訳の文ができあ がるというものです。

これまでに私は、ナショナル読本、ウェブスタ ー綴字書, ウィルソン読本, パーレー万国史の独 習書を取り上げ、それらの出版傾向や記述内容を 分析してきました。「独案内」や「直訳」には様々 な工夫が凝らされ,明治の日本人が外国語に向き 合おうとした姿勢を見ることができます。

「独案内」「直訳」という独習書は、やがて一 節毎に訳文を与え, 英文中の語句に解説を施す参 考書「講義」へと姿を変えていきます。こうした 伝統的な訳読法の変化を見ていくことを通じ、構 造の大きく異なる英語を,日本人がより効果的に 学ぶ方法を探って行きたいと思います。



[H22~23年度 重点研究(高等教育推進研究)]

ウェブ上で学習を管理するシステム Moodle(ム ードル)は、練習問題やテストの作成、自動採点、 学習記録の保存など,多様な機能を有しています。 この e ラーニングシステムを用い、英語の語彙、 文法, 音声, リーディングの力を高める学習支援 サイトを構築しています。CALL 教室での英語授 業に加え,学外からもアクセス可能な自学自習シ ステムとして, 多くの学生が利用しています。

## ● 今後進めていきたい研究について

英語教育の歴史は,現代の諸問題を解決す るヒントに溢れています。これまでの実践, 教材, 研究物を集めたデータベースを作成し, 歴史的な意義を検証しながら, よりよい英語 教育の実現に資する研究を目指します。

## 地域・社会と連携して進めたい内容

上記の研究を通じて,地域の英語教育現場 の課題解決を図っていきたいと思います。

#### ● これまでの連携実績

英語教員研修(小・中・高等学校の教員を対象とした 授業研究会・研修会の講師, 指導助言者等)

- ・庄原市中学校学力向上対策事業(H22-23)
- ・教員免許状更新講習 (H21,H22)
- · 庄原市立高小学校校内研修会(H22) ほか 公開講座 (英学史的視点からの文化講座)
- ・庄原市田園文化センター文学館講座(H24)
- ・安芸高田市多文化共生リレー講座(H23-24)
- · 言語文化生涯学習講座(H18~H25)